



Be an ACE!

大志・貢献・活力

県立直江津中等教育学校
学校だより 年度末特別号

令和6年5月14日 再発行

令和5年度 教育活動を振り返って

1 教育目標

主体的に学び、豊かな人間性や創造力を身に付け、大志をもって世界に貢献する
たくましい人材の育成

2 スクールポリシー

- Be an ACE!** 国際社会でリーダーとして活躍できる人材の育成
- 常に大志を抱き Ambition (大志・夢)
 - 世界への貢献を目指して Contribution (貢献)
 - 活力ある行動で Energy (活力・活躍)

3 今年度の学校運営計画

(1) 学校運営方針

国際社会におけるリーダーとして、社会の様々な分野で活躍し貢献できる人材育成のために、豊かな国際感覚を身につけ主体的・協働的に学ぶ教育活動を行い、生徒一人ひとりの進路希望達成に努める。また、特別活動や学校行事をとおして、自主性やたくましい心、互いを尊重し高め合う豊かな人間性を育むことにより、保護者・地域に信頼され愛される学校づくりを目指す。併せて、教員の業務負担の軽減を図ることにより、生徒と向き合う時間の確保、及びワーク・ライフ・バランスの実現を図り、質の高い学校教育を持続・発展させる。

(2) 目標

重点目標	具体的目標
授業改善をとおして指導力を向上させ、生徒の学ぶ意欲を育み、進路実現が出来る確かな学力の定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の確実な定着とともに、高大接続改革の動向を見据えながら、高度な思考力・判断力・表現力の育成を図るよう、進路指導部の機能及び教科会を充実させる。また指導計画の工夫、授業公開、校内研修 (OJT) をとおして授業改善を推進する。 ・各ステージの生徒像「真摯に学ぶ学習者」「自立する学習者」「目標を実現する学習者」の実現に迫るよう、学習習慣の確立、「あすなる探究」の充実、及び補習等をとおして学力の向上を図る。
夢を育て目的意識を高めるために、6年間を見通した進路指導を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自己理解を深め個性を伸張できるよう、6年間を見据えた系統的・発展的な進路指導計画を作成し、実施・評価・改善を行うことにより指導の充実を図る。 ・グローバル化社会で活躍できる人材育成のために、総合的な探究の時間の充実、及び進路意識啓発行事の充実を図るとともに、体験活

	動や海外語学研修等をとおして課題解決能力、表現力、発表力、実践的語学能力を育成する。
自己肯定感を高め、良好な人間関係を構築するために特別活動等を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自主性・協働性・社会性を育むため、学級活動、生徒会活動、学校行事等において、生徒による自発的な活動や運営を充実させる。 ・生徒の人間的成長・発達を促すよう、一人ひとりにきめ細かく丁寧な生徒指導を心がける。生徒指導上の課題に対しては、学級担任、学年部、生徒指導部及びスクールカウンセラーがチームとなり、情報の収集・共有を図り迅速かつ組織的に対応する。また必要に応じて、関係機関と連携して課題の解決を図る。
信頼される学校づくりのために保護者・地域との連携を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりやHPの他、ICTを活用した積極的な情報発信をとおして開かれた学校づくりを行うとともに、保護者や地域の方々、関係機関と連携・協力して生徒の教育に当たる。 ・地域に信頼され魅力あふれる学校を目指し、近隣の小・中・高・大学、地域の関係する団体との連携を積極的に図る。
勤務時間の適正な管理や業務の見直しを行うことにより、教員の業務負担の軽減を図り、長時間勤務を解消する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校業務の削減・簡素化・効率化、部活動指導の適正化を図る。また、登退庁時刻の見直し・学校閉庁日等の設定により、長時間勤務の解消を図る。 ・時間外の勤務時間を1か月45時間以内、1年間360時間以内にする。また、時間外勤務が月80時間、及び年間720時間を超える教員ゼロを目指し、時間管理、健康管理を行う。

4 進路指導の充実

(1) 進路状況

卒業する12期生は、以下のように、北海道大学1名、東北大学1名、東京工業大学1名、医学部医学科1名(新潟大学)をはじめ、難関大学に数多く合格しました。最後まであきらめることなく、積み上げてきた成果を発揮し、見事合格を勝ち取りました。日々の努力の積み重ねが、大学入学共通テストや個別大学の試験の好成績に繋がっています。

【令和6年度入試 12期生の大学入試合格状況】 (令和6年3月11日現在)

国公立大学	北海道大学(1) 東北大学(1) 山形大学(1) 東京工業大学(1) 東京農工大学(2) 横浜国立大学(1) 新潟大学 (6 医学部医学科1名を含む) 上越教育大学(1) 金沢大学(6) 富山大学(4) 信州大学(1) 静岡大学(1) 新潟県立大学(3) 新潟県立看護大学(5) など
私立大学	早稲田大学(1) 青山学院大学(1) 慶応義塾大学(1) 中央大学(5) 上智大学(1) 立教大学(1) 法政大学(5) 明治大学(4) 関西大学(1) 立命館大学(2) など

参考【令和5年度入試 11期生の大学入試合格状況】

国公立大学	北海道大学(1) 東北大学(2) 山形大学(2) 新潟大学(11) 長岡技術科学大学(1) 信州大学(5) 富山大学(2) 金沢大学(4) 名古屋大学(1) 長崎大学(1) 奈良女子大学(1) 福島県立医科大学(1) 横浜市立大学(2) 新潟県立大学(3) など
私立大学	自治医科大学(1) 青山学院大学(1) 芝浦工業大学(1) 中央大学(2) 津田塾大学(1) 東京理科大学(3) 法政大学(5) 明治大学(1) 早稲田大学(1) 立命館大学(1) など

(2) 各学年の各種検定取得状況（令和6年3月31日現在）

	学年	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級
漢字検定	1年生			1	2	5	6
	2年生				7	17	2
	3年生		1	7	16	7	1
	4年生		6	16	10	7	1
	5年生		5	11	9	11	9
	6年生		8	20	23	17	4
数学検定	1年生				3	1	4
	2年生				1		1
	3年生			4	8	8	3
	4年生			5	10	9	9
	5年生		1	4	6	7	10
	6年生	2	4	9	6	5	8
英語検定	1年生			1	8	9	13
	2年生			6	16	26	18
	3年生		1	12	27	15	5
	4年生	1	15	17	42	8	6
	5年生	1	31	41	18	6	3
	6年生	2	30	54	17	3	

5 特別活動の充実

(1) 行事の充実

- 6年間を見通した、豊かな人間性や創造力を身に付け、大志をもって世界に貢献できる人材育成のための特別活動の充実

【学校行事】

- ・ 体育祭（5月17日実施） ・ チャレンジウォーク（9月22日実施予定も雨天中止）
- ・ 文化祭（10月14日実施）
- ・ 球技大会（7月・3月）
- ・ 卒業証書授与式（3月15日 卒業生、保護者、職員で実施）
- ・ 前期課程修了式（3月18日実施）

【学年行事】

- 1年生：オリエンテーション合宿（4月、妙高1泊2日で実施）
スキー教室（1月、安塚1日で実施）
- 2年生：職場体験学習（7月、3日で実施）
修学旅行（2・3月、大阪・京都2泊3日で実施）
- 3年生：スキー合宿（1月、黒姫1泊2日で実施）
- 4年生：海外研修事前研修（10・11月、東京2泊3日で実施）
海外語学研修（12月、マレーシア1泊2日で実施）
- 5年生：大学訪問（6月、富山大学1日で実施）
海外研修事前研修（7月、東京2泊3日で実施）
海外語学研修（10月、マレーシア7泊8日で実施）

6 地域連携について

(1) 保護者・同窓会等との連携

P T A総会→4月29日（土）実施

学年P T A→年2～3回

保護者面談、授業参観→授業参観は学年によって実施

学校行事（チャレンジウォーク）へのお手伝い依頼

進路講演会→各学年によって実施

同窓会講演会→10月17日（火）実施：講師 市村幸恵 様

奉仕作業→6月10日（土）実施

P T A研修旅行（金沢大学視察）→10月24日（火）



PTA 奉仕作業

(2) 広報活動

・学校説明会

→7月1日（土）、児童110名と保護者150名参加

・「直江津中等だより」配付→年4回発行

・「入学案内パンフレット」配付

→上越地区小6児童全員配付

・小学校毎での説明会実施→6月～11月実施

・地区別学校説明会→9月26日（火）、糸魚川で実施

・学校HP、note に学校だよりや記事を掲載

・文化祭の小学校への案内→1年生が出身小学校へ



学校説明会

(3) 地域との連携

・直江津地区青少年育成会議のあいさつ運動に参加

→5, 6月と10月に直江津駅前で実施。



あいさつ運動

7 グローバル人材の育成（国際理解教育の充実）

(1) 5年生マレーシア研修（10月）

4年生マレーシア研修（12月）

(2) 国際理解ワークショップ（2月） 4年生で実施

(3) 県内大学留学生との交流（11月、1月） 国際部で実施

8 成果と課題

(1) 生徒アンケートの結果から

質問1 先生の授業は役に立つ。

質問2 先生の授業は分かりやすい。

質問3 先生は質問に丁寧に答えてくれる。

質問4 週末課題や毎日の課題を通して、家庭学習の習慣が身に付いた。

質問5 本校の学力向上対策（週末課題、補習、土曜講座）について満足している。

質問6 自分の進路について、考える機会が多い（進路講演会、進路講話、各行事など）。

質問7 各種検査や教育相談、学活（ホームルーム）を通して自己理解が深まった。

質問8 直江津中等教育学校生としての誇りをもっている。

質問9 生徒会活動（総務）各委員会活動、生徒会行事）が充実している。

質問10 部活動が充実している（部活動に所属している生徒のみ回答）。

質問11 学校行事は充実している（体育祭、文化祭、各種合宿、チャレンジウォークなど）。

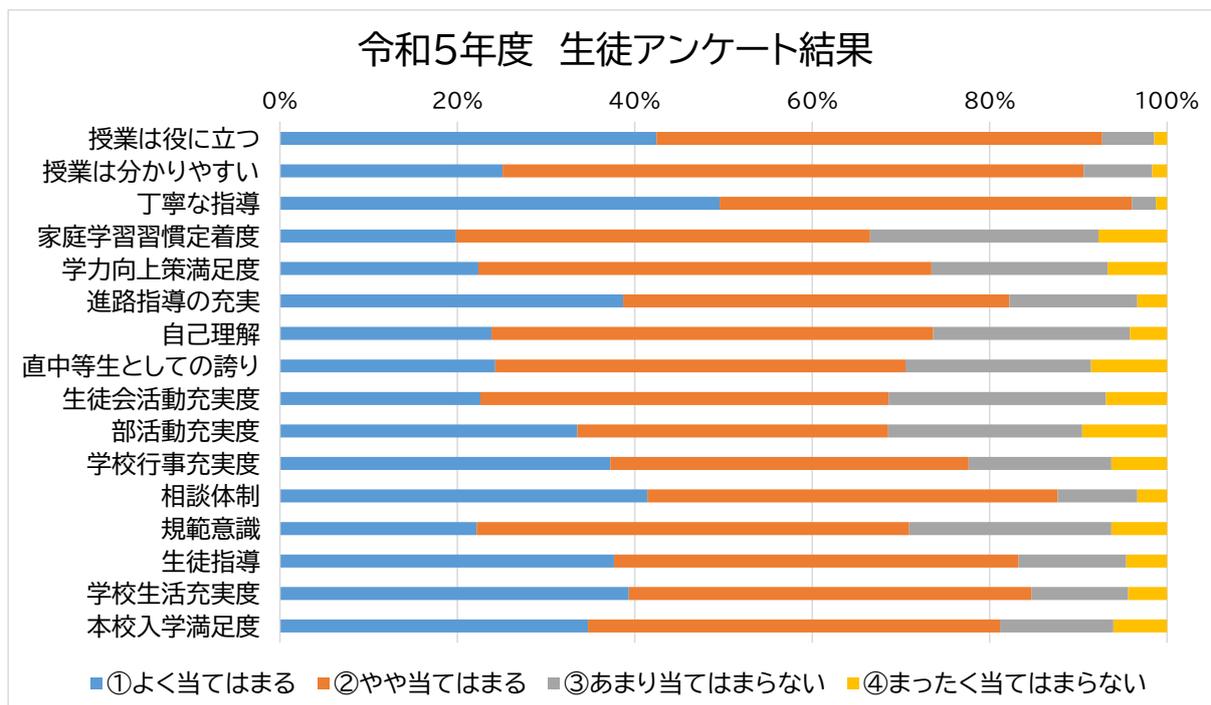
質問12 先生は生徒の悩みごとを聞き、相談にのってくれる。

質問13 生徒は学校のきまりや規則を守っている。

質問14 先生は学校のきまりについてしっかり指導している。

質問15 学校生活は充実している。

質問16 本校に入学してよかったと思う。



ほとんどの項目で肯定的評価の割合が70%を超えている。その中で、「よく当てはまる」の割合が高かった項目は、「1 授業は役に立つ」(42.5%)、「3 丁寧な指導」(49.6%)、「12相談体制」(41.4%)です。

また、昨年度のアンケートの結果と比較し、肯定的評価の割合が高くなった項目は、「3 丁寧な指導」(2.0%UP)、「10部活動充実度」(6.0%UP)、「14生徒指導」(2.1%UP)です。様々な悩みを抱える生徒の声に耳を傾けるとともに、解決の方策を共に考えていくという姿勢で教師が対応していることが、肯定的評価が高くなった原因であると考えます。また、昨年度はこのアンケートの報告で課題として挙げられていた部活動は、コロナ禍が明け部活動がその活動の場を広げたことなどが肯定的な評価を得ました。

課題は、「9 生徒会活動充実度」が昨年度より下がったこと、「4 家庭学習習慣定着度」が伸びてこないことです。

(2) 保護者アンケートの結果から

質問1 お子さんにとって授業は分かりやすい様子である。

質問2 教師は質問に丁寧に答えてくれる様子である。

質問3 お子さんは週末課題や毎日の課題を通して、家庭学習の習慣が身に付いた。

質問4 本校の学力向上策(週末課題、補習、土曜講座など)について満足している。

質問5 本校の進路指導に満足している(進路講演会、進路講話、各行事など)。

質問6 お子さんは進路目標の実現に向け前向きに努力している様子である。

質問7 部活動は充実している(部活動に所属している生徒の保護者み回答)。

質問8 学校行事は充実している(体育祭、文化祭、各種合宿、チャレンジウォーク)。

質問9 本校は面談をはじめ生徒の悩みごとを聞き、相談にのれる体制ができている。

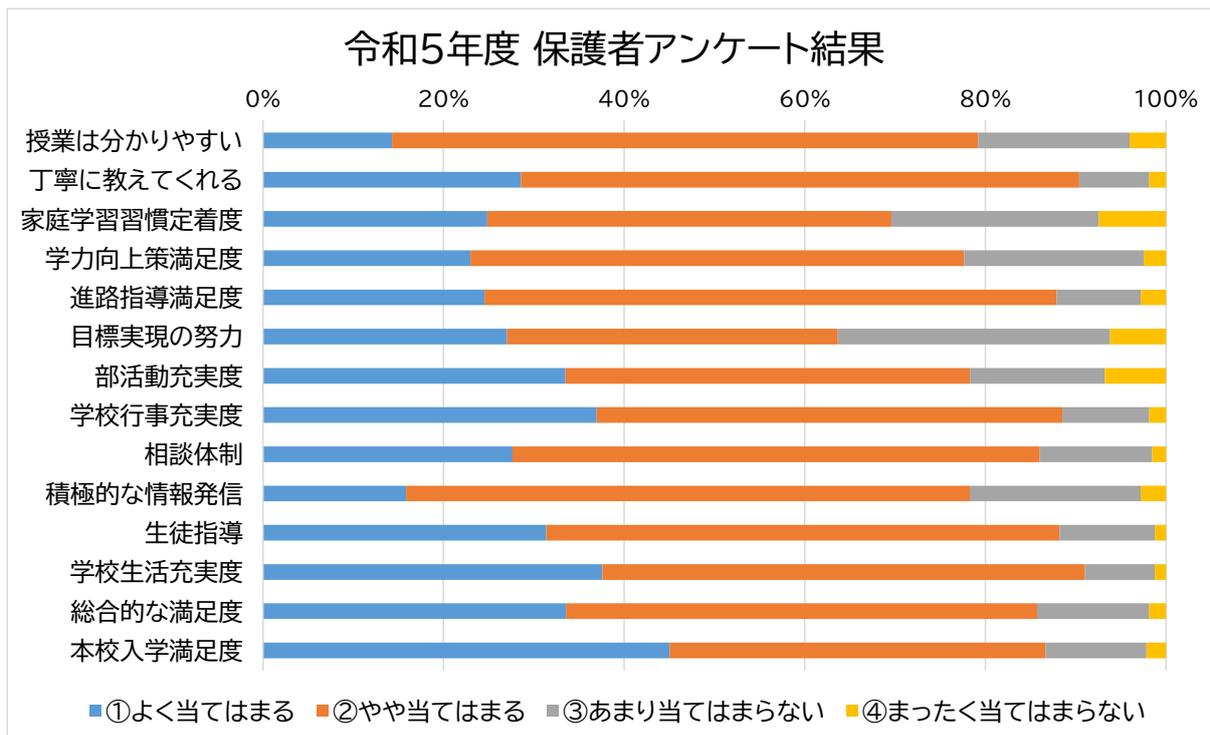
質問10 本校は校内の様子を様々な方法で積極的に情報を発信している。

質問11 先生は学校のきまりについてしっかり指導している。

質問12 お子さんの学校生活は充実している様子である。

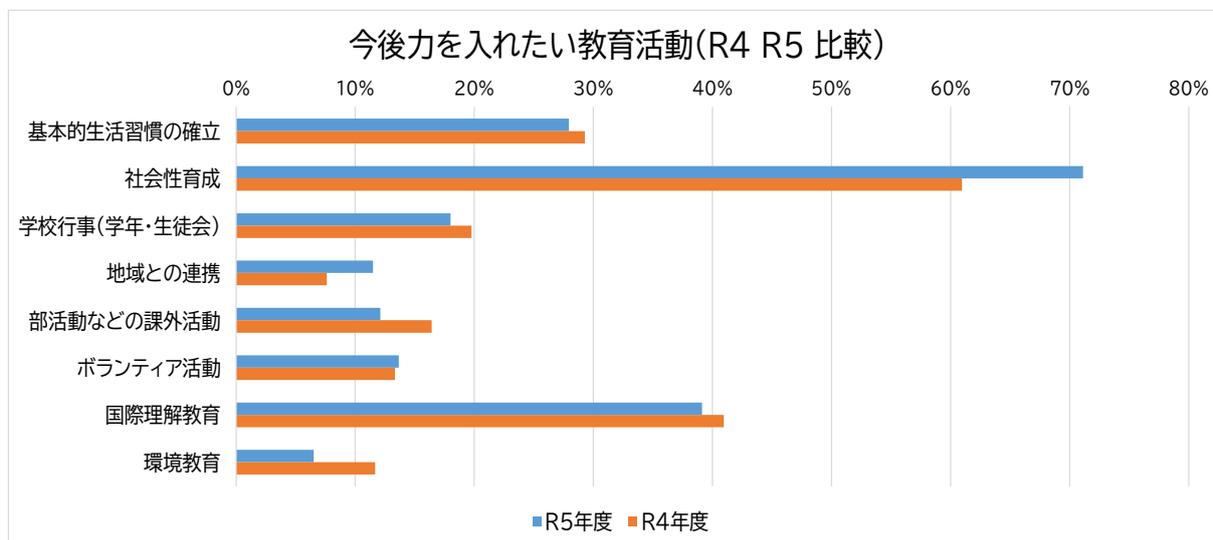
質問13 総合的に本校の教育活動に満足している。

質問14 お子さんを本校に入学させて良かったと思う。



14項目中13項目で、肯定的評価の割合が70%以上でした。評価が一番高くなった項目は、「12学校生活充実度」の91%です。生徒がそれぞれの活躍できる場でいきいきと学校生活を送ることができており、それは保護者のご理解とご協力があるからだと考えます。また、「1 授業は分かりやすい」79%、「2 丁寧に教えてくれる」90%、「5 進路指導満足度」88%と肯定的評価の割合が高く、授業や週末課題、補習の学校における学習指導について、多くの保護者から理解いただいていることが、肯定的評価の割合の高さにつながったと考えます。更に、高い割合だったのが「13総合的な満足度」86%、「14本校入学満足度」87%であり、直江津中等の教育活動について保護者の理解が得られていると考えます。授業や家庭学習が充実すれば、自ずと学校生活への満足度も向上していくと考えています。来年度以降も肯定的評価の割合を更に向上させるため、引き続き、前期課程を中心として学習習慣を定着させるための取組を継続していきます。また、生徒同様に「7 部活動充実度」の肯定的意見が昨年度から29%アップしました。

課題は、「6 目標実現の努力」で肯定的評価の割合が64%、昨年度から6%ダウンでした。



また、保護者の皆さまから「今後力を入れたい教育活動」を伺ったアンケートでは、「社会性育成」が群を抜いて高く、昨年度からも 10 %アップしています。さらに、「国際理解教育」「基本的生活習慣の確立」のポイントがたくなっており、この傾向は昨年度と同様です。

保護者の皆さまから自由記述で、下記のご意見やご質問をいただきました。

「1年生の東京研修がなくなり残念です」「海外語学研修は欧米英語を経験させたいと思いました」「円安でアメリカ研修が難しい中ですが、英語圏の国での研修を期待します」

→ 生徒の体験的な活動を充実させるとともに、より効果的な教育活動の展開や授業時間の確保のために行事の精選を進めています。結果として、1学年における泊を伴う東京研修を実施しないことになりました。また、今年度はコロナ禍から日常生活の復帰に伴い4、5年生が海外語学研修を行うことができました。今年度、両学年がマレーシアを研修先に選んだ理由として、少人数かつコミュニケーション重視の英語学習プログラムが充実していることが挙げられます。今後も、本校の特色でもある海外語学研修をより効果的かつ充実させたものになるよう様々な方面から検討を重ね、計画を立てていきます。

「生徒が、貸与されているタブレットの使用について You Tube 等を見れないようにできないでしょうか?」「iPad を夜遅くまで使っていて困っています」

→ 端末の使用および SNS については、上越警察署の少年サポートセンターの方から講演をいただくなど生徒に望ましい活用方法を指導しています。タブレット端末は学習に役立つものです。とても有効で便利なものですが、使用方法については心配されることもたくさんあります。今後も、生徒の心身の健康を損なうことなく使用できるよう指導を行っていきます。

「前期生のランチを温かいものにするなど改善をお願いします」

→ ランチについての要望は以前より複数寄せられています。その都度、委託業者にお伝えするとともに、改善をお願いして参りました。数年前より中学生に合うようメニューを改善いただいたり、保温に努めていただいたりしてきました。今後も継続して参ります。

先日、ランチを委託している2つの業者から令和6年度より値上げの案内が皆さまに配付されました。物価高の影響によるものですが、それでも安価で提供していただいていることには変わりありませんし、感謝しつつお願いをしております。

(3) 今後に向けて

令和6年度の教育課程は、今年度とほぼ同様に進めていく予定です。

また先日、上越市教育委員会が示す部活動ガイドラインの改訂版が示されました。本校も、これまでどおり前期課程はそのガイドラインに沿って活動する予定です。今年度からの大きな変更点はございませんが、令和6年度は「各競技の連盟や協会主催の大会・コンクール参加や、練習試合等のために、校長の判断で認めた場合に行うことができる休日の活動」が、年間20日以内から15日以内になります。これからも、新潟県や上越市の動向を皆さまに情報提供しながら、休日の部活動の地域移行の体制を整えていきたいと考えています。

募集定員減から4年が経ち、令和6年度は1～4学年までの学年が2学級となります。そして、令和8年度には全ての学年が2学級となります。それに伴い教員数も年々減少していきますが、*Be an ACE!*を合い言葉に教職員がベクトルをそろえ、よりよい学校を目指します。